

キャラクター名
崖ツ縁 ギリー (がけつふち-)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー サラマンダー	ワークス	店主	カヴァー	ネットショップ店主
オプション		年齢	32	性別	男
覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	30 %
出自	貧乏	経験	大転落	邂逅	殺意: "マスターマインド"天船巴

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	34
肉体	3	0	3			6	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	1	0			2	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避			知覚			意志	2		調達	1	
運転:自動車	2		芸術:			知識:			情報:噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
"赫たる車輪"	白兵	6r+4	0	n+8		《赫き剣》で作成。nは消費HP(最大Lv×2)
コンボ『火の車』	白兵	8r+4		10		HP2点消費、装甲無視、命中でHP4点回復 対「ガード」時がX+2D、HP-3
コンボ『火の車』(100%↑)	白兵	9r+4		13		HP2点消費、装甲無視、命中でHP8点回復 対「ガード」時がX+2D、HP-3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: 情報屋	
コネ: ハッカー	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種(カウンターレネゲイド)	P	N		
癒れ縁: 宇佐乃麗ひぐらし(うさのその)	P	慈愛	N	悔悟
殺意: "マスターマインド"天船巴	P	執着	N	憎悪
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
赫き剣	3	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	武器作成							
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	マイナー	-	-	対決	-	
効果:	C値-Lv(下限7)							
渇きの主	1	4	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果:	装甲無視、命中でHP[Lv×4]回復							
鮮血の一撃	1	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果:	ダイス+[Lv+1]個、HP2点消費							
フレームタン	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	射程変更、攻撃力-[5-Lv]							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

過ぎし日の、狭い路地裏の子どもたち。
俺たちは貧乏だったけれど、それなりに楽しくやっていた。
あの日、あの悪夢のような女が来るまでは。

飄々とした男。UGNに様々なものを卸している店主。軽薄に見えるが、仕事に対しては誠実。
雑貨から武器、情報まで、細々したものならば何でも取り扱う。
表の顔として経営しているネットショップはアパレル系。いわゆる変Tを取り扱っている。
経営は火の車だが、店をたたむつもりはない。

貧しい家ばかりが集まる小さな長屋で生まれ育った彼は、かつては一攫千金を夢見る純朴な青年だった。
幼馴染の少女・ひぐらしの突飛な発想に振り回される波乱万丈な毎日。
金はなくても、それなりに楽しい日々を過ごしていた。
しかしある日、集落一帯がFHの幹部"マスターマインド"天船巴の実験場となったことで日常は一変する。
強制的なレネゲイドへの感染、そして覚醒。大半の住民が耐えきれずにジャーム化し、そこは血の海と化した。
幸運にも彼と幼馴染の精神は暴走衝動に打ち勝ち、ふたりはオーヴァードとして覚醒する。
だが、長くは保たなかった。度重なる暴走衝動による疲弊、ジャームと化した人々の襲撃。
そして彼女は、彼の目の前で事切れた。
彼は慟哭し復讐を誓う。あの腐りきった女を、いつか必ず、この手で地獄に叩き込んでやる。
皆の血に塗れた、彼女の血を汲んだ、この火の車で。